

さて、新型コロナウイルスの感染法上の分類が五月八日から季節性インフルエンザと同じ五類に引き下げられました。そこで本年度は三年連続して開催を自粛しております冠山会総会を四年振りに開催することといたしました。

総会開催を断念せざるを得なかった三年間ですが、とりわけ令和三年度以降の総会では、卒

四年振りに開催した総会
冠山会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて活躍のこととお慶び申し上げます。また平素より本会の活動にご理解とご支援を賜っておりますことに衷心より御礼申し上げます。



冠山会会長
小林 勢治

いよいよ



第43号

発行所
奈良県立郡山高等学校
冠山会
発行責任者
日高 容子
編集責任者
冠山会事務局
発行部数 32,000部



業後五十年を迎える皆様の学年同窓会とタイアップするスタイルで開催しようと諸準備を進めておりました。

この間、当該の昭和四十七年卒業ならびに昭和四十八年卒業の学年幹事の皆様には開催に向けた打合せや同級生への周知、さらには会場との調整など多くの手数をおかけしたことは言うまでもありません。

しかし、コロナウイルス感染拡大という未曾有の社会的危機に見舞われ、中止という判断をせざるを得ない状況のなかで幹

事諸兄のご尽力に報いることが叶いませんでした。ここに改めて両学年の幹事の皆様のご労苦に心より感謝の意を表する次第です。本当に有難うございました。

そして本年度、冒頭にお示したようにコロナウイルスに関わる社会の状況が大きく変化したことを受けて四年振りに総会の開催を決定し、昭和四十九年卒業の皆様のご協力を得ながら準備を進めてまいりました。

総会開催の詳細は別の紙面で紹介させていただきますが、ともすればマンネリ化や形骸化を危惧されていた総会に賑わいと活気を与えるという所期の目的は十分に達成することができたと確信しているところです。

来年度は昭和五十年卒業の皆様とともに総会を開催いたします。今年以上の賑わいと盛り上がりをご期待しながら今後の準備作業を進めてまいります。

母校の創立百三十年
ところで郡山高校は本年度創立百三十年という佳節を迎えます。母校が百三十年の歴史に

相応しい学校であって欲しいと願うのは私一人ではないと思います。そして「誠実剛毅雄大」の校訓のもとで文武にわたって「相応しい姿」を追求し続けていってほしいと願うばかりです。

学校では記念誌の編纂に加えて今秋には記念式典や記念行事も計画されていますが、冠山会としてこういった記念事業を全力で支援していきたいと考えております。

郡高生の活躍
結びになります。郡高生の嬉しいニュースがありますので紹介いたします。実は昨年度の全国高校総体にハンドボール部男

子が創部以来初めて出場を果たしてくれました。ハンドボール部は私の同級生たちが苦勞して創部した部活動で、小グラウンドで細々と活動を始めた当時の彼らの姿が今も目に浮かびます。

この他に私が聞いているだけでもこの十年程の間にサッカー部、ソフトボール部、剣道部、弓道部、陸上部、山岳部などがそれぞれ全国大会出場を果たしています。今後とも「郡高健児ここにあり」の意気を県内外に示してくれることを期待しながら、冠山会からのエールと支援を送り続けたいと思っております。

令和6年度の冠山会総会は
ホテル日航奈良で開催します

冠山会総会の運営は卒業後50年を迎える皆さんの学年同窓会とタイアップして行います。

令和6年度は昭和50年卒業の皆さんとともに下記の日程で開催する予定です。

令和6年5月12日(日曜日)

午前10時00分～ 受付
11時00分～ 総会行事
12時30分～ 懇親会



着任の挨拶



新校長 中川 照久

この春の人事異動により、奈良県立西の京高等学校より着任いたしました中川照久（ながかわ てるひさ）と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。平素より冠山会の皆様方には、本校の教育活動に物心両面からご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

今年は例年より桜の開花が早まり、郡山城跡の桜も入学式を待つことなく満開を迎えました。しかし、これまでのコロナ禍での自粛ムードとは違い、たくさんの方がお城まつりに来られ桜を楽しんでいました。その賑やかさに負けることなく、郡山高校の校内で生徒たちが部活動に参加する元気な声を聞いていると、校長としての再スタートをきることに期待が膨らみました。また、本年は創立百三十周年を迎え、歴史と伝統を誇る郡山高専学校の校長を拝命いたしましたことを光栄に思います。

さて、学校ではこの三年間新型コロナウイルス感染症拡大に対する対応に追われる毎日でした。行事を計画しても、感染が拡大し、中止せざるをえない状況でした。そのことは、生徒たちに大きな落胆を与えたと思います。日本全体が、新型コロナウイルス対策に、少し疲れが見え

てきた中で、今年行われましたワールド・ベースボール・クラシック（WBC）準決勝、対メキシコ戦での日本の勝利は、見る人全員に勇気と感動を与えたと思います。四回に3ランを打たれ、メキシコが先制するも、吉田選手が同点の3ランを打ち日本の勝利への期待が高まりました。しかし、八回に、再度リードをゆるし、1点差で迎えた九回の場面での村上選手の打順。それまで不調が続いていただけに、栗山監督は代打を出すのではと思っただけは少なからずおられたと思います。村上選手自身も、インタビューの中で、バントをすることも頭をよぎったと言っています。栗山監督は、どのような状況の中でも村上選手の力を信じ、その結果、2ベースヒットにより、日本は逆転勝ちし、三大会ぶりの優勝につながることができたと思います。このことは、人の力を信じる大切さを、再確認させられました。

日本社会では生産年齢人口の減少、グローバル化の進展により、社会構造や雇用環境が大きく急速に変化しており、予測が困難な時代となっています。また、新型コロナウイルスの収束が見えないことやロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不安など、不安定要素が多い社会において、学校は、生徒一人一人が自ら課題に取り組んでいける資質・能力を身につけ、深い学びに繋げていける場である必要があります。すなわち、生徒たちもつ可能性を信じ、社会に対応できる力の育成を図り、将来を見据えた行動ができる態度を育成していかなければなりません。新年度になり、感染状況もある程度収まってはいるものの、感染者がなくなるという状況において、今後も学校活動を止めないよう、感染拡大防止に努めなければと、教職員一同気を引き締め対応していきたいと思えます。

家庭や地域が一体となり、生徒たちを見守り育て上げる環境を整えた学校であり続けるために、教職員が知恵を振り絞り取り組んでいます。そして、郡山高校で学び、卒業していく生徒たちが充実感と達成感を味わい、社会に胸を張って羽ばたいてくれることを願っています。

最後になりましたが、本校教育の充実のためご尽力いただいている冠山会の皆様方に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

松 籟

先日、朝の打ち合わせで、桜花グラウンドにヘリポート調査が入ると聞きました。本校の桜花グラウンドは、災害時にヘリポートとしての運用を想定し、市の地域防災計画に掲載されていることを初めて知りました。桜花グラウンドにヘリコプターが飛来し着陸すること、緊急時には学校施設の利用は必然かもしれないませんが、平時ではなかなか想像できない光景です。しかしその話を聞いて、30年前の記憶が蘇ってきました。

今から30年前のその日、真夏の桜花グラウンドに、ヘリコプターが着陸したんです。ローペラの回転から発せられる風がすごかったです。初めて体験しました。着陸時、グラウンドに猛烈な砂埃が舞う中、私はそこにいました。さてその日に何があったのでしょうか？

その日は本校創立百周年の年である平成5年の7月29日です。夏の高校野球奈良県予選の決勝戦の日。郡山高校野球部はエース大内選手を擁し、この日まで激戦を制して勝ち上がっていました。決勝の対戦相手はこの年の春の選抜出場校の智弁学園です。

【以下、試合の様子は、郡山高等学校百年誌より抜粋】

「三回裏に大竹義弘のタイムリーで一点を先制するが、四回裏に同点に追いつかれ、その後緊迫した投手戦が続いた。しかし、八回表、栗栖敏の三塁打のあと、大内崇裕のタイムリーで勝ち越し、その後この回にもう一点そして九回表にも一点を追加して四対一で勝利を収め、みごと一九年ぶり五度目の夏の甲子園を決めた。」

当時、私は郡山高校の教諭としてその日を迎えました。決勝戦なので、本来は球場に応援に行くべきですが、午前中は外せない用事で休暇をいただき、午後、ほとんどの職員と生徒が球場に応援に出たため人気がない学校に出勤し、事務室で事務職員の皆さんと決勝戦をテレビ観戦しました。勝利の瞬間、私は感動で身体が震え鳥肌が立ちました。本

感謝

今年のお城祭りは四年ぶりに通常開催となり、約百軒の露天商が並び、多くの人で賑わいを見せました。歴代城主たちも喜んで愛でたと言われる郡山城の桜は「日本さくら名所百選」に名を連ね、「御殿桜」とも呼ばれる桜並木は人々の目を楽しませていました。本校の茶道部もお手前を披露して来訪者を歓迎し、城内には通常の日々が戻ってきた喜びで溢れていました。その満開の桜の中、後ろ髪をひかれながら郡山高校の校門を後にし、やはり日本全国の学校の事に臨時休校となるという前代未聞の事態に困惑し、苦悩したこの数年のことと、そのような状況の中で、高校生活を全力で謳歌しようと努めた郡高生のことを思わずにはいられませんでした。

三年間続いたコロナ禍も、終息の兆しが見えつつあります。この三月の卒業生は、まさしくコロナ渦中の高校生活となった学年です。在校生不在の入学式直後には臨時休校となり、再開後もマスクを介しての会話、昼食、授業が続ききました。学校行事や部活動も制限を余儀なくされ、言葉で言い尽くせない三年間のさまざまなおもいを胸に卒業式を迎えました。講堂が改修のため、郡山城ホールで挙行了した卒業式を、昭和四十八年卒業の方々にも、冠山会館からリモートで見届けていただきました。小林

会長はじめ多くの人のお祝いの言葉を胸に、立派に巣立っていった卒業生は、この三年間の経験があるからこそ、多くの諸先輩方とともに、冠山会の一員として今後も母校に力を添えてくれると思います。

行動制限がある中でも、郡高生は、校訓である「誠実・剛毅・雄大」のもと、自分のできることを精一杯やり遂げてくれました。これまで冠山会の皆様が脈々と受け継いでこられた「何事にも真剣に取り組み自らを欺かず、二心のない、偽らない直き心」「強い意志を持ち、いかなる困難にも打ち勝ち、前進する不屈の心」「小さなことにこだわらず気宇壮大にして、ものごとを遠くひろくみつめ、大きな理想を持ち邁進すること」の精神で、苦境が続く中でも、勉強のみならず学校行事や部活動に前向きに、精一杯取り組んでくれました。その姿に、私自身幾度となく、心を打たれ、パワーをもらいました。文化祭では「今まで」が通用しない状況の中で、できる最善を尽くし、展示、発表やバザー全てに趣向を凝らし、盛大に開催することができました。自作の飲食バザーはできなかったものの、模擬店には長蛇の列ができ、売り切れが続出し、久しぶりに家族の方にも、一緒に楽しんでいただくことができたことを嬉しく思います。また、部活動では、運動部、文化部と



前校長 栢木 正樹

もに、県内大会のみならず近畿、全国で活躍する姿には、まさに校歌にある「郡高のほまれ」を感じました。郡山高校の校長としての在任は一年と短い期間ではありましたが、活力溢れるひたむきな郡高生の姿を数多く目に焼き付けることができました。それら生徒の活動を温かい母校愛で支えてくださった小林会長様、日高幹事長様はじめ、冠山会の皆様には大変お世話になりました。十二月の清掃ボランティアにおいて、日頃の清掃では生徒の手が及ばない樹木の伐採や、校舎周りの整備をいただき、心より感謝申し上げます。

ポストコロナ時代を迎え、学校教育においても、デジタル化、多様性、持続可能性を意識した新たな学びの在り方が求められています。教育の新しい流れを取り入れながらも、郡高生には、これまで築いてきた歴史と伝統に思いを馳せつつ、本校の歴史をさらに築いてくれることを期待しております。

最後になりましたが、冠山会のますますの発展と会員皆様方のご健勝を祈念しますとともに、短い間ではありましたが大変お世話になりましたことに心より感謝申し上げます、お礼のご挨拶といたします。ありがとうございました。

当に選手の皆は格好良かったです。試合後、お祝いのメッセージでしょうか、事務室では電話が絶え間なく鳴り響きました。その中に、夏の甲子園のメインスポンサーである朝日新聞社からの連絡がありました。内容は、郡山高校甲子園出場決定の号外新聞を学校に運びたい。たしか、近鉄郡山駅前で配るものと本校職員生徒用であったと思います。東京から大阪からかわかりませんが、なんとヘリコプターで桜花グラウンドに運ぶとのことでした。えっ、そんなことがあるのか、と私は驚きました。今では平常時にヘリコプターが学校のグラウンドに着陸なんて、あり得ないでしょう。

予定された時刻に桜花グラウンドに出向きました。遠く空からパタパタパタとヘリコプターが接近する音がし、まもなくヘリコプターが桜花グラウンドに着陸しました。そのときの様子は前述の通りです。荷物を下ろすすぐヘリコプターは飛び去っていきま

した。しかし私には大変心配なことがありました。実はこの年の6月に結婚し、夏休み期間の8月上旬に海外へ新婚旅行に行く予定だったのです。まさに、甲子園での試合と旅行が重なる可能性があったのです。当然、甲子園は全校体制での応援です。担任であった私は、クラスを引率する責任があります。甲子園大会の組み合わせ抽選によって初日、2日目に試合があると、まだ帰国前で責任が果たせず、3日目以降ならば帰国して応援の引率が可能という状況でした。抽選は出発後の旅行中に行われる日程でしたので、試合日程がわからない不安でしかない状態で旅行に出発しました。そして、抽選日が過ぎたあたりに現地での日本の新聞を買おうとしたのですが、地方の観光都市では売っておらず焦りました。数日が過ぎて訪れた、たしかカナダのトロントでやっと日本の新聞を購入して確認した結果、ホッと安堵したことを記憶しています。懐かし30年前の思い出です。郡山高校野球部の未来に期待しています。一人一人が成長し、再びチーム全体が輝く瞬間を迎えることを願っています。信じて戦い続けてください。

卒業五十周年記念招待を受けて

の場 加代子 (昭和48年卒)

晴れわたる空が今日の善き日を祝っているようです。裏門からの急な坂に息が上がってしまうほどの上天気です。

本日卒業式を迎えられた皆さんが入学した二〇二〇年初春より日本に蔓延した新型コロナウイルス感染症で、高校三年間、窮屈な生活を強いられて過ごされたことと思います。

私たちも開催を目前にしていた学年同窓会が秋への延期、さらに中止となりました。昨年ようやく再会通知が来たと思ったら、それも中止となり残念な気持ちでいました。

そこに今回卒業五十周年記念として招待案内が届き、本当に嬉しく思いました。

約二十年前ぶりに校舎や校内を案内していただきました。当時は懐かしく想い、新しくなった校舎を見ながら昔の旧舎に思いを馳せました。そして恵まれた環境で学校生活を



受付(冠山会館1F)



校内見学



モニターによる卒業式出席



招待者の式



記念撮影(正面玄関)

送っていたことに改めて感謝しました。

新型コロナウイルス感染症も五類扱いに変更になり、今後の生活はもう少し自由を満喫出来るようになると思います。しかし世界レベルで困難な時代になっていることは否めません。

モニター越しではありましたが、卒業生代表答辞を聞いていて後輩の皆さんに希望を見ることが出来ました。大きく・強く育って日本を背負っていただくことを望みます。私たちもまだまだ頑張らなければと思うところです。

最後にこの度卒業五十周年招待のためにご尽力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。この良き伝統行事が永く続きますことを願ってやみません。

卒業50周年を迎えて

奥野 圭英子 (昭和48年卒)

今年度の卒業式は卒業生のみなさんをお祝いするようないい天気になりました。モニター越しですがみなさんを見てみると卒業50周年を迎える私たちも清々しい気持ちになりました。

学校内を回っている間校内はいろいろ変わりましたが甲子園での野球応援・体育祭・修学旅行など郡高3年間で懐かしく思い出されました。

コロナウイルスの影響で同窓会も中止になり同級生のみなさんに会うことも出来ませんでした。卒業式に招待していただき本当にありがとうございます。

学校内を回っている間校内はいろいろ変わりましたが甲子園での野球応援・体育祭・修学旅行など郡高3年間で懐かしく思い出されました。

ございました。思い出話が出来、楽しい時を過ごすことが出来ました。

卒業生のみなさんは高校生活の貴重な3年間コロナウイルスの影響で制限を受け思うようにならなかったかもしれませんが、それを乗り越えてこられたからこそ今後起きるかもしれない苦難も乗り越え一歩一歩前へ進んで行かれることでしょう。みなさんに素晴らしい未来が訪れることを願っています。

1日も早くコロナ前の日常に戻りますように……

ホテル日航奈良にて
四年ぶりに開催!!
冠山会総会・懇親会



昭和49年卒業生の皆さん

お知らせ!

昭和49年3月卒業生の皆さんへ

昭和49年卒業の方は、卒業50周年に当たります。

来年の卒業式(令和6年3月1日)に招待されます。

昭和50年3月卒業生の皆さんへ

昭和50年卒 竹本 徹 (4組)

石津 史子 (9組)

私たちは、郡高卒業50周年を記念して、令和7年3月1日に挙行されます郡高卒業式に招待されます。

皆さん覚えていますか? 私たちの卒業式にも卒業50周年を迎えられた先輩方がご列席になっていましたよね。自分たちがそんな立場になるなんて遠い未来のことだと思つてきたけど(笑)、とうとう私たちにその年の現役卒業生の門出をお祝いし、その雄姿にエールを送る順番が回ってくるのです。これは、郡高独自の伝統的な行事として長年受け継がれてきたもので、母校は併せて、私たちの卒業50周年の節目も祝つてくださいます。

節目のお祝い? そうなのです。卒業50周年の学年同窓会を冠山会に資金援助して頂き開催できるようになつたのです。

毎年、母の日(5月の第2日曜日)に、郡山高卒業生が集う冠山会総会と懇親会が母校で開催されてきましたが、近年では、参加者の固定化や高齢化が進んで参加人数も減少傾向でした。

冠山会総会の活性化について協議が重ねられた結果、会場を「ホテル日航奈良」に移し、総会の運営は当年度に卒業50周年を迎える学年と冠山会とが共同で行うスタイルに変

わつたのです。

このスタイルは、令和3年度の総会から始動する予定でした。が、コロナ禍で、2年連続の中止となり、ようやく今年、冠山会総会と懇親会(昭和49年卒業の先輩方の学年同窓会)が、100名を超える参加者のもとで盛大に開催されたのです。

さて、来年はいよいよ私たち昭和50年卒業生の出番です。盛大に学年同窓会を開催しましょう。

皆さん、覚えていますか? 学年同窓会は、1998年11月の「今世紀最初で最後の学年大同窓会」と、奈良の百楽で盛り上がった「卒業40年後の学年同窓会」の2回でした。またまた久しぶりの開催となりますが、来年の総会に合わせて開催できますよう、今後計画・準備を進めてまいります。

最後になりましたが、改めて次の3つを心に留めておいてください。

1、令和6年5月12日(母の日) 冠山会総会・学年同窓会

2、令和7年3月1日(金) 郡高卒業式に卒業50周年で招待

3、それまで健康に留意して、とにかく元気にごすこと!

おめでとうございます

令和4年褒章受章者

春の褒章・叙勲

瑞宝小綬章

元根 俊治 昭和44年卒

元公立高校長

瑞宝双光章

高橋 嘉誠 昭和41年卒

元公立小校長

瑞宝单光章

生田 友茂 昭和28年卒

元県警事務史員

秋の褒章・叙勲

瑞宝小綬章

植田 修司 昭和46年卒

元中和広域消防組合消防正監

旭日双光章

森本 忠三 昭和40年卒

元歯科医師会常務理事

旭日单光章

灰藤 忠雄 昭和24年卒

元公立高校長



83歳のクラス会にて

昭和33年卒 藤本 寿男

開催日 令和4年6月26日(日)
会場 「つる由」
出席者 9名

令和2年6月の同窓会で最後にしようとして別れを惜しんで2年目、新型コロナウイルス禍ではありましたが親しい友と会いたい一心で、全員83歳の元気な9名が集うクラス会となりました。クチナシの花の甘い香りが漂う季節、当日は晴天に恵まれ、奈良町の一角名刹元興寺の近く割烹日本料理店「つる由」に集まりました。丸矢通生君の司会で全員物故者に黙祷の後、高島一弘君の乾杯の音頭で開宴となり、美味

しい料理とお酒を頂きながら宴が進み、出席者お一人お一人皆様からご家族、友人、地域の方々との充実した実生活と、100歳に向けての夢を語って頂き、大いに元気づけられました。また、瑞宝中綬章を授与された名古屋大学名誉教授の森田健治君の参加もあり、「継続は力なり」を教えられる一時でもあ



奈良町 日本料理店「つる由」にて

りました。最後になりましたが、長きにわたり世話役を務めて頂いている、内藤眞君の病気の早い回復をお祈りしながらお開きとなりました。

古希の同窓会

昭和46年卒 日高 容子

卒業50周年の学校からの招待をうけた時にできなかった同窓会を、2年後にはしようと思っていたのですが、秋、いやいやまだコロナウイルスがなりをひそめておらず、そうだ！春、ほとんどの人が古希を迎える頃しようと思画しました。少し不



奈良ロイヤルホテルにて

安でもありましたが、「この時をのがすまじ」と心に決め、23年3月19日の日曜日、いつもの奈良ロイヤルホテルを予約しました。

感染者の数に一喜一憂しながら、祈る思いでその日を迎えました。なんと、その頃少しおちつきを見せたのか、「マスクは個人の自由」となり、5月8日には「季節性インフルエンザ」と同じ第5類になるといううれしい知らせが報道されました。「今だ!!」3月19日、「さー行く」と心に決め、初めて参加してくれた友もいました。いやいや大分久しぶりやけど来たわ!という人の姿もありました。

みんな始めは「誰、この人?」というげんそうな顔つきで、まさに恐る恐る受付へと近づき



ます。しかし、声を聞いてみると、パツと顔が明るくなり、50年前の姿がよみがえる本当に不思議なことですね。

「やあー、久しぶり!」と声まではずみ、満面の笑みで近づきあいます。まさに、時を越えた瞬間です。

まず、全員で写真を撮ります。帰るまでに現像して皆様にお渡しできるようにと考えてのことです。但し、遅れてきた人は写っていないのが残念ですが……。

各クラスごとのテーブルが配置されていて思い思いの話が始まります。川端先生の長くなりそうで短くまとめて頂いたあいさつもあり、なごやかな宴です。みんなテーブルを移動しながら、2年生のクラスの友だちにも会いに行きます。入り乱れての楽しい時間がゆっくりと過ぎていきます。

あつという間の3時間、「パスが待っている」との声がけでこの後のそれぞれの二次会に向かうのでしょうか。ざわざわした中にも高揚した雰囲気のままバスにのりこみます。

「また次、クラスごとでもいいから企画してね」と、楽しみを次にもちこして、帰っていく人もいました。

みんな元気で次もまた会えます。

昭和33年卒 内藤 眞

郡山高校創立百三十年を祝す
創立百三十年を祝す
学徒の 俊秀 勢い 魁然たり
和を以て貴しと為す 恩師の訓
校友 郡高 浄縁を結ぶ

作 内藤 眞

すように、そう心の底から願ひ別れを惜しむのでした。楽しい時間はあっという間に過ぎるといふ現実も味わいながら、集合写真を手に帰路につくのでしよう。

改めて、皆の幸せと健康を祈りながら、お開きといたします。みんな元気でね！

不思議な

縁・絆・つながり

昭和43年卒 水田恵一郎

私は昭和43年度卒業生の水田恵一郎です。今回お話しさせていただくのは、平成31年に卒業された谷岡ほのかさんと不思議な縁・絆・つながりなど深く心を打たれた思い出を話させていただきます。

初めての彼女との出会いは18年前です。彼女が6歳の時でした。彼女のお父さんと共にインドネシアの農業研修生を奈良県農林部から引き受けた際に知合いました。谷岡さんのお家に、私が栽培した苺を持って行った時の事です。幼い彼女が「ご先祖様にお供えしてこよう」と言ってお供えし10秒ぐらい手を合わせておられました。私はその後ろ姿に感動しました。そし

てその時から私は彼女の、大ファンになりましたが、その後長い間お会いすることはありませんでした。

しかし2回目の感動的な出会が訪れました。郡山高校を卒業して50年目の、春の卒業式に招待されました。その卒業生の中に谷岡ほのかさんがおられたのです。私は長く会っていないかった恋人にあつたような懐かしい気持ちになり、びっくりしました。

そして彼女との出会いはこれだけではなかったのです。3回目の出会いがやってきました。

彼女は郡山高校を卒業され、大学の教育学部に進まれて4年生の夏(昨夏)モンゴルの日本語学校に教育実習に行かれることになりました。お父さんからその話を聞いて私はまたびっくりしました。なぜならその日本語学校は、私が入会しているロータリークラブの米山奨学生だった、ガラさん(ガルバドラツハジャンチブさん)が帰国後に創設され、理事長をしておられる



谷岡ほのかさんとガラ校長先生

学校だったのです。私も何度か図書館に本を寄贈したり、見学に訪れたことがあったのです。そんなロータリークラブとの関わりのある学校に、教育実習に行かれるなんて本当に不思議なご縁を感じました。

そしてまたそれだけでは終わらずに、谷岡ほのかさんは今年7月から、このモンゴルの日本語学校の高等部の先生として就職されるそうです。

私は今回谷岡ほのかさんとの出会いを通して、伝統のある郡山高校の卒業生・在校生は硬い固い絆・ご縁・つながりで神様が結んでくださっているのだと感じました。感謝です。

生きているということは

永六輔

生きているということは

誰かに借りを作ること

生きていくということは

その借りを返してゆくこと

誰かに借りたら誰かに返そう

誰かにそうしてもらったように

誰かにそうしてあげよう

生きていくということは

誰かと手をつなぐこと

つないだ手の温もりを

めくり逢い愛し合ひ

忘れないでいること

やがて別れの日

その時に悔やまないように

今日を明日を生きよう
人は一人では生きてゆけない
だれも一人では歩いてゆけない

モンゴルの様子 & 私がどうしてモンゴルに行くのか

平成31年卒 谷岡ほのか

私の行く新モンゴル高校は、世界一寒いと言われているモンゴルの首都ウランバートルにあります。人口は340万人、公用語はモンゴル語です。日本からは約6時間のフライトです。そんな地に、水田さんとつながりのあるガラ理事長先生が創った新モンゴル高校があります。

この学校は、日本の教育をモチーフにした学校で、毎年沢山の学生が日本に留学しています。私は、昨夏に1ヶ月間日本語教師としてインターンをさせていただきました。その中で、私が教えるだけではなく、学生から学ぶことがたくさんありました。

一番印象的だったのは、彼らにどうして日本に行きたいのかと尋ねた時、沢山の学生が、日本で勉強して、母国モンゴルをより良くしたいと言っていたことです。私がその歳だった時、母国のために何かしたいと思っ

たことは正直ありませんでした。確かにモンゴルは様々な問題を抱えています。首都への一極集中による渋滞やインフラの整備が追いついていかなかったり、大気汚染や資源、政府の問題などです。

私は彼らの言葉を聞いて、日本語を教えることで、彼らの夢またモンゴルがもっと良くなるようにサポートしたいと強く思うようになりました。そんな時、校長先生がもし良かったら私たちの学校で働きませんか？と言ってくくださったので、これはチャンスで何かの繋がりはないかなと思ひモンゴルで働くことを決めました。



郡山高校卒業から

約半世紀

昭和50年卒 中野 衛

今回、多くの素晴らしい方々がおられる中、私のようなものに、冠山会誌に寄稿の機会をいただき、本当にありがとうございます。

昭和50年に郡山高校を卒業し早48年、約半世紀が過ぎました。その頃からどれだけ成長できたのか。振り返ってみますと、本当に多くの皆様に支えられ、導いていただいたお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

高校卒業後、家業の鉄工所を引き継ぎとて工学部に進学しました。しかし進学するやオイルショックの時代で家業は最悪の状態。父は安定した公務員への就職を望みました。紆余曲折はあったものの、最終的には地元王寺町役場に奉職し、以来44年、行政の中で、財政・税務・消防防災等々の部門を担当させていただきました。不思議な巡りあわせもあり、全く経験のない教育部門である現職の王寺町教育長に就任し5年目を迎えています。

現在の学校は、私が学生時代に経験した、黒板に先生が書かれることをノートに書き写し、

試験前に読み返ししながら、必死に覚えるというものとは、大きく変化していました。

王寺町では令和4年4月より、幼稚園3園、小学校3校、中学校2校を再編し、元の中学校校区に合わせ、幼稚園2園



王寺北義務教育学校の外観



校舎内の大階段

と、9年一貫の義務教育学校2校に再編し、新たな教育体制をスタートさせました。写真は、新築した王寺北義務教育学校です。

学校では全ての子どもたちが、一人一台の自分のタブレットを持ち、学校のどこにいても、インターネットに繋がる環境にあります。教科書のQRコードをタブレットで読み込んだり、自らの疑問をインターネットの世界で検索したりと、どんどん自分の解らないことを解決し、世界を広げていきます。今後、ますます人工知能(AI)は、多くの知識・正確な計算のみならず、人間の思考にも迫るような圧倒的な進化を遂げ、私たちの生活に浸透してくることでしょう。

これからの時代を生き抜く子どもたちには、しっかりとした基礎学力を身に付けるだけでなく、AIには到底できない人間ならではの「探究力」(物事の本質を探り極める力)を養うことで、一人一人の良い所をどんどん伸ばすことが必要だと考えています。

私たちには、そんな子どもたちの成長を、どう応援できるかが問われていると感じています。皆様のお力を借りながら、ま

だまだできることがあると夢が広がっています。

サッカー部OB会

昭和54年卒 山下 優

令和4年12月30日、近鉄奈良駅8F百楽で郡山高校サッカー部OBの集いを開催しました。昭和51年卒3名、昭和52年卒6名、昭和53年卒2名、昭和54年卒5名、昭和55年卒2名、計18名が集いました。5学年と幅が



近鉄奈良駅8F 百楽にて

あり初めてお会いする方もおられました。さすがはあの小さなグラウンドでボールを追いかけあつた仲間同志です。ワールドカップの熱が冷めない中、サッカー好きの61歳から65歳のおじさん達の楽しい時間でした。今回来られなかった多くの先輩、後輩達に来ていただければいいなと思います。最後に現役の郡高サッカー部の皆さん、はるか昔の私達OBは皆さんを応援しています。勉強とサッカー、悔いのないように頑張ってください。

昭和47年卒業のみなさんへ

～学年同窓会開催のお知らせ～

令和6年4月21日(日)

奈良ロイヤルホテルにて開催いたします。

卒業生の今

●石川 朱澄(令和5年卒)

在校生の皆さん、初めまして。私は2023年卒業した石川朱澄です。

現在は畿央大学健康科学部看護医療学科1回生の学生です。サークルにはまだ入れていなくて、「バイトが部活！」みたいにして生きています。

郡高生の頃は生物部と演劇部に所属しており、部長を兼任していました。昨年度、私は生物部で長年続けた研究活動で、日本学生科学賞奈良県審査で優秀賞を、第1回弘前大学太宰治記念「津軽賞」で最高賞を受賞しました。「ここまで来たら大学でも続けるんやろ。」とか思いますよね。やりません。私はずっと夢だった助産師に向けて現在勉強中です。もしこれを読んでいて、私の研究に興味があって継ぎたいなと思った人は竹原先生に申し出て下さいww。

私がこの研究を始めたのは中学2年生の時です。私が卒業した中学校では卒業研究をしなければなりません。普通は研究を始めるのは3年生からなのですが、私が所属していた裏山クラブには研究も活動内容に入っていたらしくて、顧問の先生から見込みがあると思われた部員は研究活動に勧誘されるという仕組みでした。私も勧誘されるまでは知りませんでした。このまま3年間里山保全活動やツリーハウス作りをするのだと思っていました。なぜか研究活動に勧誘された私達(当時は友達と2人で共同研究していました)

は、まずテーマ決めに苦戦しました。テーマがなかなか思い浮かなくて、トゲチシャというテーマにたどり着くまではアメリカオニアザミやカベアナタカラダニ、オオキンケイギク、そしてイチヂクコバチと、様々なテーマをとにかく調べては諦めてを繰り返してきました。そこで先生に紹介されたのがトゲチシャでした。ここ数年拡大し続けている帰化植物だと聞かされました。その時は先生も私達もトゲチシャという名前も知らず、「あれ」で会話を成り立たせていました。そしてやっと奈良教育大学の先生に話を聞いて、名前が分かりました。

名前が分かっただけではネットでも調べますよね。調べました。情報が基本本の「き」程度しかありませんでした。次に図書館で植物の本を片っ端から読みました。まさかの名前すらない。普通にビビりました。一冊だけあったのですが、学名とスケッチ、そして分類だけが書いてあるだけでした。何でも情報がそろったこの社会でこんなことがあるとは思いませんでした。奇妙なことにそれがまた面白く感じ、研究したくなりました。

最初は分布調査しかしておらず、夏休みに「ならまち」を自転車で行ってトゲチシャを見つけ、周りの植物と光度、群生度を調べて地図にチェックしていくだけでした。それをまとめて新学期に提出し、学生科学賞に出品しました。そしたらまさかの佳作を受賞。褒められたら伸びるタイプである私達の研究への熱は上がりました。3年生では分布調査の続きや温度別の発芽率、種子の飛距離など、もっと発展させた内容の研究をしました。しかし学生科学賞は佳作も取れず、た

だ最後に研究発表会を行って中学校生活を終えました。卒業式の日、勧誘してくださった先生が私に言いました。「研究続けるよ。お前ならいける。」なのに「いける」のか分かりませんでした。が、なぜか1人でもこの研究は続けたいなと思いました。そこで、もともと入りたかった演劇部に加え、生物部に入ることになりました。

もちろん生物部の先輩も先生方も誰もトゲチシャなんて知りませんでした。そこで中学校で作った研究発表用のスライドを用いて、入部早々先輩と先生の前で今までの研究を発表することにしました。厳密にはさせられませんでした。1年生の頃はコロナで学校が休みだったり私も高校に慣れないなかつたりして研究した内容を何かの賞に出品するということはできませんでした。しかし研究発表などは行っていました。ちなみに1年生では気孔の大きさや時間ごとの気孔の開閉、挿し木でどこまで育つのかなど、トゲチシャの植物としての基本情報を研究しました。私の研究目的はトゲチシャの拡大を防ぐことだったので、そのための基本情報が欲しかったのです。そして2年生の時、基本情報もそろったことだし本題を研究しようとして、トゲチシャの拡大を防ぐための研究をやつと始めました。どうして拡大が進んでいるのか、私は今までやった分布調査や植生調査、基本情報、経験をもとに仮説を立てました。トゲチシャの周りには他の植物が少な

いというところに着目し、トゲチシャにはアレロパシーがあるのではないかとという仮説です。アレロパシーは、自分が有利に生育するために周りの植物の生長や発芽を抑制するという作用です。そこでアレロパシーの有無を調べるために論文を読み漁り、自分なりに実験していききました。実験では寒天培地を使うので、培地に細菌やカビが繁殖したり、演劇部や定期テストとの両立が大変だったりして、3年生までこの実験は続きませんでした。ちなみにこの研究を進めながら1年生の時の研究をまとめ、学生科学賞に出品したところ、奈良県審査で優秀賞を受賞しました。3年生は受験勉強との両立をしながらなんとか夏休みまでに研究を終わらせることができました。そして夏休みに学生科学賞用の論文と津軽賞用の論文を書き、

新学期に提出。頑張った甲斐があり、学生科学賞奈良県審査で優秀賞を、第1回弘前大学太宰治記念「津軽賞」で最高賞を受賞しました。長くなりましたが最後に言わせてください。興味のあることはどんどん追究してください。今私達が持っている探究心は私達自身の宝物です。今興味を持っていることを探究することは勉強にもつながっていきます。私は勉強が苦になった時、「この教科書がきたらもうトゲチシャのこういうところが分かるよな。」と、日々トゲチシャとの関連を見つけて勉強していました。すると勉強が楽しくなってきました。演劇にも興味があったことから、現代文や日本史はもと楽しんでいました。そして大事なことは誰かと協力することです。私は兼部していて、部長も兼任していて、なんなら委員長もしており、勉強との両立は何回も崩れかけました。しかし友達や部活の仲間、先生方の協力もあり、なんとか無事乗り越えてきました。協力がなければもしかしたら

今また在校生だったかもしれない。それがなくてもどちらかの部活はやるめるか幽霊部員になっていたでしょう。誰かの助けを借りることは悪いことでも恥ずかしいことでもありません。医療界でもチーム医療という言葉があります。患者さんを含めたそれぞれの専門職で助け合いながら共に患者さんを回復へと導くのです。協力なしではやりたいことは充実してできないし、目標も達成できません。皆さんは郡高でたくさん仲間を持つています。友達がいなくても先生方は味方してくれます。その助けを借り、いつか自分も誰かの助けになる、そう考えてこれからも郡高人生を楽しんでください。私もこれから、今まで協力してきてくれた人達に医療を通じて恩返しできるように日々看護の勉強に励んでいきます。私は皆さんの将来を応援しますので、皆さんも私の将来を応援してください。以上です。



今また在校生だったかもしれない。それがなくてもどちらかの部活はやるめるか幽霊部員になっていたでしょう。誰かの助けを借りることは悪いことでも恥ずかしいことでもありません。医療界でもチーム医療という言葉があります。患者さんを含めたそれぞれの専門職で助け合いながら共に患者さんを回復へと導くのです。協力なしではやりたいことは充実してできないし、目標も達成できません。皆さんは郡高でたくさん仲間を持つています。友達がいなくても先生方は味方してくれます。その助けを借り、いつか自分も誰かの助けになる、そう考えてこれからも郡高人生を楽しんでください。私もこれから、今まで協力してきてくれた人達に医療を通じて恩返しできるように日々看護の勉強に励んでいきます。私は皆さんの将来を応援しますので、皆さんも私の将来を応援してください。以上です。

母校の清掃ボランティア (令和4年12月3日実施)



恒例の年末の清掃ボランティアに参加しました。学校からも栢木校長先生の他に、教頭先生や校内冠山会の先生方の参加を得て、母校のためにいい汗を流すことができました。現在行われている工事の関係で、裏門から冠山会館周辺を重点的に樹木の剪定や落ち葉の除去等の作業をし、昼食も含め午前中に無事終了しました。新年を迎える郡高の年越しの準備ができたと思います。ご参加くださった皆様、お疲れ様でした。また来年もよろしく願います。そして、まだご参加していただいていた皆様も年末で何かと忙しい時期ではありますが、是非一度、ご参加ください。郡高の近況を知る絶好の機会でもありますので、皆様のご参加をお待ちしております。



この紙面をお借りして、郡高のハード面の近況を簡単に紹介します。ここ数年、郡高では大規模工事が連続して行われています。私たちが学んだ施設の老朽化が進み、どんどん生まれ変わっています。令和2年には、体育教室が取り壊され、その場所に新しい特別教室棟が完成しています。そして階段教室があったあの理化学館が取り壊され、今は更地になりきれいに整備されています。そして現在、郡高自慢の講堂の耐震補強工事が行われています。そのため令和5年3月の卒業式や4月の入学式は、やむを得ず、やまと郡山城ホールで執り行われました。来年の卒業式は工事も終わりリニューアルした講堂で舉行されるそうです。また、大和郡山市によって行われている城内学舎の跡地の公園化工事が着々と進んでいる中で、郡高内の環境整備も進みました。プール西側の石垣を覆っていた樹木の整理が行われました。写真は、西公園側から撮影したものです。次回の清掃ボランティアは、令和5年12月2日(土)の予定です。皆様のご参加をお待ちしています。(昭和50年卒 竹本徹)

冠山会へのご協力お願い

“冠山会だより”の発行事業は会員(卒業生全員)の協力金¥2,000/年で運営されています。“冠山会だより”は我々3万有余の卒業生をつなぐ唯一の糸であります。100才以上の方から新卒業生まで、こんなにも広く同じ母校を巣立った友とつながっていると思えば、すばらしい事だとは思われませんか?こんなにも多くの同窓生に全員配布されているのは珍しいと聞きます。是非とも、この“冠山会だより”の発行事業の存続のため、協力金の振込みを、よろしく願い申し上げます。なお資金集めのため“冠山会だより”に企業広告を掲載していただける方を募っていますのでよろしくお願い致します。

〇〇株式会社
冠山 太郎 S〇年卒

1マス ¥5,000
約9cm × 約5cm

歴史愛好会より(ご報告)

5月8日からは、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き上げられるという決定も受け、安心できるが如く報道はされていますが、感染者数は減少しているとは言い難く、今年はまだ少しがまんをして、様子を見ることにしました。再開したいのは山々ですが、何より参加して頂く方々の安心安全が第一と考えます。健康があってこそその歴史愛好会です。もう1年辛抱して頂くことをお願いします。今年度の活動を見合わせる決断をしたことを報告致します。

ベーグル&プチラボ
ナッツくん

大西 弘章
(昭和50年卒)



文武両道

大学入学共通テストは、2025年以降に現行の6教科30科目から7教科21科目へと変更されます。OECDによる国際的な学習到達度調査「PISA」で、日本は読解力が弱く、欧米に比べて若者の自己肯定感や社会参加への意識が低いことが分かりました。これらを踏まえて、現在の高1・2年生に適用されている学習指導要領は、知識偏重型の大学入試の見直しと、前述した課題に対応した内容が盛り込まれています。学力の3要素の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を評価に取り入れ、各教科の横断化を図ったアクティブ・ラーニングを取り入れるなど、思考力や活用力の育成が重視されています。

しかし、学習指導要領が変わっても、単元や内容ががらりと変わるわけではなく、2025年からの共通テストが現在のものと大きくは変わらないと言われています。国公立大学の二次試験については、ふたを開けてみないと分からないこともありますが、論述・記述対策をしっかりとやることに変わりはありません。2023年度入試では、国立大学でも、総合型選抜と学校推薦型選抜が2割以上を占めていました。今後は私立大学も含めて入試がさらに多様化し、一般選抜でも学校の活動を評価するようなこともあるかもしれません。その一方で、早稲田の政経で数1が課されるなど、文系でも数学力が問われ始めています。郡高生の皆さんはそうした変化にも対応できるよう、日々のコツコツと積み重ねる勉強はもちろん、学校の活動などにもアクティブに取り組んでくれることを考えています。

2022年度卒業生の進路状況

■ 進路状況(実人数)

	受験者数
令和5年3月卒業生	355
既卒生	67
合計	422

	4年制大学				短期大学	準大学	専修学校 (各種学校)	就職	その他
	国公立	私立	計	計					
令和5年3月卒業生	285	66	39	179	0	0	0	1	70
既卒生	43	19	4	20	0	0	0	0	
合計	328	85	43	199	0	0	0	1	94

■ 2023年度入試 合格者数

国公立大学	合格者数
群馬県立	1
千葉県立	1
東京都立	1
新潟県立	1
富山県立	1
富山県立	1
金沢市立	1
山梨県立	1
信州県立	1
岐阜県立	1
静岡県立	2
愛知県立	1
名古屋市立	1
三重県立	3
滋賀県立	1
京都市立	3
京都市立芸術	1
京都府立	2
大阪府立	7

国公立大学	合格者数
大阪教育	8
大阪公立	26
神戸市立	10
兵庫県立	1
奈良教育	21
奈良県立	4
奈良県立医科	5
奈良女子	4
和歌山県立	3
和歌山県立医科	1
鳥取県立	1
島根県立	1
岡山県立	4
香川県立	1
高知県立	1
九州県立	1
長崎県立	2
大分県立	2
国公立合計	133

私立大学	合格者数
青山学院	1
慶應義塾	3
工学院	2
順天堂	1
東京農業	2
東京理科	1
日本大学	2
早稲田	4
金沢医科	1
朝日	1
中京	4
名城	1
成安造	1
大谷	3
京都外国語	1
京都産業	28
京都女子	20
京都橘	3
京都文教	1
京都薬科	9

私立大学	合格者数
同志社	102
同志社女子	46
佛教	3
龍谷	130
立命館	57
追手門学院	3
大阪青山	1
大阪医科薬科	2
大阪経済	4
大阪工業	28
大阪産業	8
大阪電気通信	5
関西	150
関西医療	3
関西外国語	5
近畿	169
四天王寺	2
摂南	22
相愛	1
森ノ宮医療	1

私立大学	合格者数
大和	4
関西学院	44
甲南	1
甲南女子	1
神戸女子	1
神戸薬科	2
武庫川女子	19
畿央	35
帝塚山	8
天理	3
奈良学園	3
立命館アジア太平洋	1
龍谷大短大部	1
私立合計	954

令和4年度 クラブ活動の記録

令和4年4月から令和5年2月まで

【体育部】

◆陸上競技部◆

●奈良県選手権

1500m 男子5位

5000m 男子優勝

4×1000m 男子優勝

4×4000m 男子3位

●全国高校総体県予選

5000m 男子4位

4×1000m 男子3位

4×4000m 男子6位

走幅跳 女子3位

円盤投 男子2位

●近畿高校ユース県予選

【二年の部】

1000m 女子2位

2000m 女子2位

1000mH 女子3位

4000mH 女子2位

走幅跳 女子1位

三段跳 女子1位

ハンマー投 男子3位

【一年の部】

1000m 男子3位

1500m 男子3位

4000mH 女子3位

三段跳 女子3位

【共通の部】

4×1000m 男子5位

4×4000m 男子5位

●県高校総体

1000m 男子3位

2000m 男子3位

1500m 女子3位

4×1000m 男子3位

4×4000m 女子3位

1000mYH 女子3位

4000mH 女子3位

走幅跳 女子2位

三段跳 女子2位

●県高校駅伝

【総合司の部】

男子 6位

女子 7位

【区間賞】

男子 1区3位

◆バスケットボール部◆

●新人大大会県予選

男子 第3位入賞(決勝リーグ進出)

●リーグ戦3部B

男子 第2位

●リーグ戦2部

女子 第6位

●新人大大会

【男子】 2回戦進出

【女子】 ベスト16

◆柔道部◆

○奈良県高等学校柔道体重別選手権大会

男子73kg級 第3位

○高校総体柔道競技奈良県予選

男子73kg級 第3位

◆バドミントン部◆

○近畿高等学校バドミントン選手権大会

男子ダブルス 第3位

◆卓球部◆

○全国高等学校卓球選手権大会

奈良県予選会

男子ダブルス ベスト8

○近畿高等学校卓球選手権大会

男子ダブルス 出場

◆ハンドボール部◆

○春季選手権大会

男子 2位

女子 3位

○インターハイ予選

男子 優勝

女子 3位

○インターハイ近畿大会

男子 2回戦敗退

女子 2回戦敗退

○インターハイ

男子 1回戦敗退

○県総体

男子 Bブロック2位

女子 Aブロック3位

○選抜予選

男子 3位

◆サッカー部◆

○インターハイ予選

初戦敗退

○U-16選手権

ベスト4

○全国高校サッカー選手権予選

初戦敗退

○県U-18リーグ

1部10位

○新人大大会

ベスト4

◆ホッケー部◆

○全国高校総体県予選

男子 第3位

女子 第3位

○近畿大会

男子 出場

女子 出場

○選抜県予選

男子 第2位

女子 第3位

○県新人大大会

男子 第1位

女子 第2位

◆弓道部◆

○令和四年度国体弓道競技

少年の部最終選考会

国体候補選手1名選出

○令和四年度全国高等学校総合体

育大会第六十七回全国高等学校

弓道大会兼第七十五回近畿高等

学校弓道大会県予選

男子団体 1位

女子団体 1位

○第七十五回近畿高等学校弓道大会

(京都市武道センター弓道場 京都市)

男子個人 2名出場

女子団体 出場

女子個人 2名出場

○第六十七回全国高等学校弓道大会

インターハイ

(徳島県とぎんどもアリーナ特設弓道場)

男子団体 出場

女子団体 出場

○第七十五回奈良県総合体育大会

(弓道競技会)

男子団体 3位

女子団体 2位

○第四十一回全国高等学校弓道選

抜大会県予選兼第二十回記念近

畿高等学校弓道選抜大会

女子団体 2位

女子個人 1位

○第三十回記念近畿高等学校弓道

選抜大会(田辺市立弓道場)

男子団体 出場

女子団体 出場

○第四十一回全国高等学校弓道選抜

大会熊本市立総合体育館)

女子個人 1名出場

◆水泳競技部◆

○第76回 奈良県高等学校選手権

水泳競技大会兼 近畿高等学校選

手権水泳競技大会奈良県予選大

会競泳競技の部

男子100m自由形 第7位

男子200m自由形 第8位

男子200m背泳ぎ 第5位

男子200m平泳ぎ 第2位

男子200m個人メ 第5位

男子4×200mリレー 第6位

女子4×200mリレー 第8位

女子200m背泳ぎ 第7位

男子200mバタフライ 第2位

男子400m個人メ 第8位

男子4×200mリレー 第4位

女子4×200mリレー 第7位

男子50m自由形 第4位

女子800m自由形 第8位

男子100m平泳ぎ 第6位

男子4×200mリレー 第5位

女子4×200mリレー 第6位

○第76回 近畿高等学校選手権

水泳競技大会 前記入賞者出場

○第29回 奈良県高等学校新人水泳

競技大会兼第6回近畿高等学校

新人水泳競技大会奈良県予選大会

男子50m自由形 第6位

男子50m背泳ぎ 第3位

女子50m平泳ぎ 第7位

男子50m平泳ぎ 第5位

男子100m平泳ぎ 第2位

女子50mバタフライ 第4位

男子50mバタフライ 第3位

女子100m背泳ぎ 第7位

男子4×200mフリーリレー 第2位

女子4×200mフリーリレー 第6位

男子4×200mリレー 第7位

女子4×200mリレー 第6位

○第6回近畿高等学校新人水泳競

技大会 前記入賞者出場

◆剣道部◆

○全国高校総体県予選

女子団体 第3位

男子団体 第2位

○近畿高校剣道大会

女子団体 出場

男子団体 出場

○県高校総体

男子総合 第2位

男子個人 第3位

女子総合 第2位

○県高校新人大大会

男子団体 第2位

男子個人 第2位

女子個人 第2位

○全国高校選抜県予選

男子団体 第2位

女子団体 第2位

○近畿高校選抜大会

女子団体 出場

男子団体 出場
○全国選抜大会
男子団体 出場

◆山岳部◆

○全国高校総体奈良県予選
額井岳 高取山
男子団体 チームA 一位
○全国高校総体・香川県
コロナ感染症の為

○県新人登山大会・高見山
△合宿山行

夏合宿 北アルプス 蝶ヶ岳

【文化部】

◆吹奏楽部◆

○水無月コンサート 出演
○第64回奈良県吹奏楽コンクール
高等学校の部J 銀賞
高等学校の部A 金賞

○第37回県高総文祭吹奏楽部門
優秀賞
○奈良県吹奏楽フェスティバル出場
校内アンサンブル発表会

○第50回奈良県アンサンブルコンテスト
高等学校の部
金賞8重奏 金賞(奈良県代表)

○第49回関西アンサンブルコンテスト
高等学校の部
金賞8重奏 銅賞

○第4回近畿広域吹奏楽交流会
尼崎市教育委員会賞

◆合唱部◆

○5月1日(日)
第15回郡山高校合唱部定期演奏会
△DMG MORIやまと郡山城小ホール

○8月4日(木)
第46回全国高等学校総合文化祭
東京大会(東京芸術劇場)

○8月11日(木・祝)
第32回奈良県合唱コンクール

高等学校部門Aグループ出場
金賞受賞・県代表
〈さざんかホール〉

○8月19日(金)

第89回NHK全国学校音楽コンクール奈良県大会出場
銀賞受賞
〈さざんかホール〉

○9月23日(金・祝)

第77回関西合唱コンクール
高等学校部門Aグループ出場
銀賞受賞

○11月5日(土)
第37回奈良県高等学校総合文化祭
合唱部門参加
〈さざんかホール〉

○11月23日(水・祝)
第37回奈良県高等学校総合文化祭
総合発表参加
〈榎原文化会館〉

○12月18日(日)
第16回奈良ヴォーカルアンサンブルコンテスト出場
銀賞受賞

○3月11日(土)
第15回大和郡山市合唱フェスティバル出場
〈DMG MORIやまと郡山城ホール〉

○新入生歓迎会、文化祭、学校説明会等で合唱
○ミュージックビデオ「響け！大和郡山」に出演(大和郡山市教育委員会主催)

○第69回NHK杯全国高校放送コンテスト奈良県大会
朗読部門 優良賞

○第69回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会
朗読部門 出場

○第37回奈良県高等学校総合文化祭
放送部門
アナウンス部門 優秀賞2名
朗読部門 優秀賞1名

○第42回近畿高等学校総合文化祭
和歌山大会放送部門
朗読部門 出場

○郡山警察署のパトロール時に流す特殊詐欺の注意喚起アナウンス作成に協力しました。

○十一月第三十七回奈良県高等学校総合文化祭日本音楽部門 (優秀賞)
文化祭総合発表出演
○十二月たんとん郡高広場クリスマス会にて演奏
○三月 第六十二回大和郡山お城まつりにて演奏
○〈校内〉新入生歓迎の集い、文化祭で演奏

優良賞1名

◆華道部◆

流派「甲州流」
活動場所 校友会館一階
・文化祭にて展示発表
・玄関、校長室、昇降口に展示

◆華道部◆

○第三十七回奈良県高等学校総合文化祭総合発表出演

○十一月たんとん郡高広場クリスマス会にて演奏

○三月 第六十二回大和郡山お城まつりにて演奏

○〈校内〉新入生歓迎の集い、文化祭で演奏

○育友会のご協力を得て、望遠鏡と赤道儀を支えるピラー脚の設置をすることができました。来年度に向けて観測態勢の一層の充実をはかりたいと考えています。

○WRO Japan 2022 奈良大会予選
エキスパート競技
ミドル競技 高校生部門
準優勝 入賞

○オリジナル動画の製作
文化祭、e-オーブンスクールで発表上映

○審査員特別賞 入賞
審査員特別賞 入賞

○生物部◆

○「トゲチシヤ」の拡大を防ぐには「アレロパシー」の有無を調べることで、日本学生科学賞において奈良県大会優秀賞受賞。

○「トゲチシヤ」から考える奈良の自然で弘前大学太宰治記念津軽賞地域探究論文高校生コンテストにおいて最優秀賞「津軽賞」受賞。

○鷺池水生フランクton調査など各種実験観察を行う。
○グリーンヒドラの出芽に関する実験・研究を行い、けいはんなサイエンスフェスティバル、科学研究実践活動発表会等にて研究発表を行う。

○ESC◆
○英語プレゼンテーション大会(オンライン開催) World Youth Meeting2022 Gold Award受賞(八月)

◆ESC◆

○第73回奈良県高等学校英語弁論大会・第4回英語暗唱大会
参加(十一月)

◆ESC◆

○奈良県高等学校英語部交流会イギリスユフェスティバル
参加(十一月)

○第2回奈良県高等学校ティベート大会
優良賞&チャレンジ賞(十二月)

○新聞局◆
○将棋同好会◆
毎週木曜日に活動

○茶道部◆
○文化祭にて、体育館で盆略点前のパネルを展示し、模擬お茶会を開いて、来ていただいた方にお点前を披露した。

○毎週火曜日・金曜日は校友会館二階和室でお稽古を続けている。

○軽音楽同好会◆
○放課後週四日、校友会館一階で練習を行っている。

○九月、本校文化祭にて演奏。

○三月、プラチナ食堂にて発表会を開催。

○第三十七回奈良県高等学校総合文化祭演劇部門並びに第四十七回奈良県高等学校演劇発表会県予選 優秀賞

◆美術部◆
○奈良県高校総合文化祭美術工芸部門優秀賞
○柳澤神社大絵馬奉納
○やまと郡山図書館立体作品展示
○読書感想画コンクール研究会賞
○アートグランプリ作品出品

◆書道部◆
○第二十三回高校生国際美術展 奨励賞 一名
○第二十七回全日本高校・大学生書道展 書道展賞 一名

○第四十九回奈良県ジュニア美術展覧会 県議会会長賞 一名
佳作 一名
○第六十九回日本学書展 奈良市長賞 一名
特選 一名
○第七十回榎原神宮席上揮毫書き初め大会 特選 二名
特選 一名
○第六十八回大神神社書初めまつり 特選 一名

トピックス

ハンドボール部男子 念願のインターハイ出場

顧問 大城葉寿希

ハンドボール部男子は、令和4年度のインターハイ県予選で初優勝し、インターハイに出場することができました。しかし、こまでの道のりは決して順調なものではありませんでした。

過年度のインターハイ県予選でのベスト4、選抜大会県予選での準優勝をきっかけに、部員たちはインターハイ出場を夢見るようになりまし。そんな矢先、選抜大会近畿予選が新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。インターハイ出場までのひとつのステップとしていた公式戦がなくなり、部員たちは長い冬を過ごすことを余儀なくされました。さらに追い打ちをかけるように、突然の顧問の交代。部員たちへの衝撃やメンタル面の負担は大きく、日々の練習すらできるかどうかかわからない状況となり、窮地に立たされました。私自身はハンドボールの経験者でもなければ、郡山高校に赴任したばかりでした。しかし、一生懸命に部活動をしている生徒たちが練習できるようにと思い、自ら顧問を引き受けました。

幸い、ハンドボール部には外部コーチがいらっしゃるので、技術指導をその方にお願。再び部員たちは練習に励むことができたようになりました。春季大会に出



場しましたが、結果は東大寺学園高校に惜しくも2点差で準優勝。ハンドボール部男子は攻撃を得意としていますが、守備や試合中のメンタル維持が課題でした。悔しさと同時にこのままではいけないという思いが部員たちの心に火をつけました。インターハイ出場だけでなく弱点克服を目標として、より一層練習に励むようになりまし。そして迎えたインターハイ県予選。順調に勝ち進み、またも東大寺学園高校と決勝戦で試合をするこになりました。試合中盤まではお互いに譲らず、点を取られたら取り返す展開。そこから

徐々に点を取り、終わってみれば8点差。これまでの努力が実を結び、念願の初優勝とインターハイ出場を果たすことができました。インターハイでは残念ながら1回戦敗退という結果に終わりましたが、多くの観客やマスコミに囲まれた大舞台で強豪校と試合をし、とても貴重な経験となりました。部員たちがこのような経験ができたのは、練習ができる時間と環境、外部コーチの指導や家族・友人の支えがあったからです。最初は戸惑いの目をしていた部員たちですが、何度も顔を合わせ話す中で表情が豊かになり、人間的にも成長していく様子を見ることができました。たくさんの方に応援していただけのチームになれるよう顧問・部員とも努力して参りますので、今後も本校ハンドボール部をよろしくお願いたします。

令和5年度

人事異動

教員退職

氏名	職名	新所属	教科等	備考
1 津浦 和久	教頭		地公	
2 柳屋 晴美	再任任教諭		国語	
3 生島 秀峰	再任任教諭		保体	
4 沢邊 浩一	教諭		英語	
5 井堀 昭二	臨時講師		国語	
6 藤野 佳帆	臨時講師		英語	
7 辻村美佐子	教諭	郡山	地公	再任任教諭
8 登日 正人	教諭	郡山	地公	再任任教諭
9 森川 晶子	再任任教諭	郡山	英語	非常勤講師
10 森本 俊雄	再任任教諭	郡山	英語	臨時講師 任期付
11 谷川喜一郎	臨時講師	郡山	地公	非常勤講師

教員転出

氏名	職名	新所属	教科等	備考
1 栢木 正樹	校長	教育研究所		所長
2 吉岡 成郎	教諭	高取国際	地公	
3 下條 志隆	教諭	大和広陵	数学	
4 若松 彩華	教諭	大和中央(昼定)	理科	
5 辻井 良子	臨時講師	生駒	地公	
6 森川 彰子	実習助手	畝傍		

育児休業

氏名	職名	期間	教科等	備考
1 山崎 寿帆	教諭	2023/3/15~2025/3/31	国語	
2 澤 隆明	教諭	2022/12/28~2023/11/30	地公	
3 増川かおり	教諭	2021/7/5~2024/3/31	英語	
4 福西小百合	養護教諭	2023/1/26~2025/7/31		

修学休業

氏名	職名	期間	教科等	備考
1 坊 佳紀	教諭	2022/4/1~2024/3/31	英語	

教員転入

氏名	職名	旧所属	教科等	備考
1 中川 照久	校長	西の京		校長
2 森村祐三子	教頭	大字陀	(国語)	教頭
3 植村由紀子	教諭	西の京	国語	
4 中尾 壯志	教諭	西和清陵	地公	新規採用
5 長野 泰裕	教諭	法隆寺国際	数学	
6 福島 匡宏	教諭	京教大附属	数学	新規採用
7 大西 環	教諭	高田	理科	
8 寺井 宏文	教諭	磯城野	保体	
9 吉田 聡	教諭	青少年・社会活動推進課	英語	
10 西島華奈子	教諭	五條	英語	
11 奥田 忍	実習助手	青翔		
12 木村智永子	臨時講師	高門芸術	国語	任期付
13 村田 真一	臨時講師	生駒	地公	任期付
14 岸本 隆介	臨時講師		地公	新規 定数内
15 太田 吏胡	臨時講師		養護教諭	新規 任期付

常勤講師継続

氏名	職名	定数内	英語	備考
1 井上理映子	臨時講師			
2 木村喜美男	臨時講師	補充講師	英語	

非常勤講師

氏名	職名	時間数	教科等	備考
1 谷川喜一郎	地公	9	地公	
2 土田 秀雄	数学	9	数学	
3 森川 晶子	英語	6	英語	
4 芦田真奈美	家庭	8	家庭	

令和4年度 事業報告

1. 本部役員会および役員会の開催

- (1) 4月23日(土) 令和3年度 第4回 役員会
 - ・コロナウィルス感染拡大にともない令和4年度総会の開催を中止したため、総会提出議案について審議し承認した。
 - ・郡高プール周辺の植栽の整備について、計画及び予算を報告した。
- (2) 6月25日(土) 第1回役員会
 - ・コロナウィルス感染拡大にともない開催を中止した。
- (3) 6月27日(月)～7月25日(月)
 - ・各週月曜日に事務局を開局し、役員輪番により会員からの問合せ等に対応した。
- (4) 12月3日(土) 第2回本部役員会ならびに第2回役員会
 - ・次年度総会の準備状況を報告するとともに上半期事業の結果を報告した。
 - ・郡高創立130周年記念事業への支援について審議し、記念誌発刊および記念行事の開催について協力支援することを決定した。

【令和5年】

- (5) 3月18日(土) 第3回本部役員会ならびに第3回役員会
 - ・令和5年度総会の開催について協議し、新型コロナウイルスの5類移行など社会状況の変化を踏まえ開催することを決定した。
- (6) 4月22日(土) 第4回 役員会
 - ・令和5年度総会に提出する議案について協議した。

2. 令和4年度冠山会総会

- ・コロナウィルス感染拡大のため開催を中止した。

3. 冠山会歴史愛好会

- ・コロナウィルス感染拡大のため全ての行事を中止した。

4. 冠山会だより(会報)の発行

- ・6月21日(火) 第42号を発行し全ての会員へ発送した。

5. 清掃ボランティア活動

- ・12月3日(土) 冠山会館周辺の清掃及び校内植栽の整備活動を実施した。

6. 情報交換会

- ・学校との情報交換会を10月に計画したが、コロナウィルス感染拡大にともない中止した。

7. 冠山会入会式並びに卒業式

- ・2月27日(月) 卒業記念品贈呈式ならびに冠山会入会式が開催され会長が出席
- ・3月1日(水) 郡山高校卒業証書授与式が挙行され、会長、幹事長が出席。
本年度は昭和48年卒業の学年が卒業後50年を記念して招待された。

◆ 令和4年度 収支決算書

奈良県立郡山高等学校冠山会
自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
前期繰越金	1,285,636	1,285,636	0	前年度からの繰越金
入会金	1,775,000	1,775,000	0	卒業生 5,000円*355人=1,775,000円
活動協力金	3,900,000	3,913,884	13,884	特別会計収支報告のとおり
総会参加費	150,000	0	-150,000	総会行事中止による
寄付金	150,000	100,000	-50,000	昭和19年卒業生花岡敏子氏
雑収入	39,364	0	-39,364	
合計	7,300,000	7,074,520	-225,480	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
会議費	30,000	0	-30,000	
総会費	1,000,000	200,110	-799,890	総会キャンセル料
卒50周年招待費	300,000	694,150	394,150	広報費、写真代経費等
卒業記念品費	400,000	472,057	72,057	卒業記念品費(卒業証書フォルダー)
生徒活動支援費	350,000	347,000	-3,000	全国大会等出場生徒への支援
教育事業支援金	100,000	93,965	-6,035	エンパワメントプログラム参加支援
植木剪定等事業費	100,000	37,668	-62,332	校内松剪定料等
委託費	3,600,000	3,564,800	-35,200	会報の編集・発送・業務委託、振込手数料等
事務費	250,000	256,901	6,901	事務用品、通信費、回線使用料等
報酬	320,000	322,000	2,000	事務補助職員報酬
慶弔費	150,000	125,000	-25,000	教職員・部活動への祝金等
諸費	100,000	5,456	-94,544	
維持費等積立金	500,000	500,000	0	冠山会館管理・周年記念準備積立金
予備費	100,000	0	-100,000	
合計	7,300,000	6,619,107	-680,893	

収入決算額 7,074,520円
 支出決算額 6,619,107円
 差引残額 455,413円(令和5年度へ繰越)

◆ 特別会計収支報告(冠山会会報発行事業)

冠山会会報発行協力金収入		会報発行・発送業務委託料支出	
収入内訳	金額	サトウ委託費(会報発行経費)	金額
郵便振込金分	1,543,144		
コンビニ振込入金分	2,468,740		
現金での入金分	2,000		
寄付後返金	-100,000		
合計	3,913,884		
		収入合計	3,913,884
		支出合計	3,564,800
		差引額	349,084

※349,084円は一般会計へ繰り入れます

◆ 令和4年度 冠山会館維持積立金収支報告書

科目	収入の部				支出の部		収支の部		摘要
	前年度末累計	本年度積立金	利息	合計	本年度支出金	次年度繰越金			
積立金	4,030,530	200,000	77	4,230,607	0	4,230,607			

◆ 令和4年度 事業積立金収支報告書

科目	収入の部				支出の部		収支の部		摘要
	前年度末累計	本年度積立金	利息	合計	本年度支出金	次年度繰越金			
積立金	8,279,309	300,000	69	8,579,378	743,600	7,835,778		プール西北 樹木伐採 (振込手数料含む)	

◆ 令和4年度 冠山会名簿作成に係る収益収支報告書

科目	収入の部				支出の部		収支の部		摘要
	前年度末累計	本年度積立金	利息	合計	本年度支出金	次年度繰越金			
積立金	5,226,147	0	0	5,226,147	0	5,226,147		名簿発行収益	

◆ 財産目録

科目	金額	摘要
普通預金	455,413	南都銀行 郡山支店 普通預金(運用口座)
定期預金	4,230,607	南都銀行 郡山支店 定期預金(積立金口座)
普通預金	7,835,778	南都銀行 郡山支店 普通預金(積立金口座)
普通預金	5,226,147	南都銀行 郡山支店 普通預金(積立金口座)

令和5年3月31日現在

監査報告

本日、上記の決算書について会計監査を執行しました結果、預金、帳簿、及び関係書類は符合し、正確に処理されていたことを認めます。

令和5年4月5日

会計監事 西本 功
 会計監事 杉井 辰彦

令和5年度 事業計画

1. 本部役員会および役員会の開催

6月17日(土) 第1回 本部役員会ならびに第1回役員会
6月26日(月)～7月24日(月)

毎週月曜日 冠山会事務局開局

12月2日(土) 第2回 本部役員会ならびに第2回役員会

令和6年

2月24日(土) 第3回 本部役員会

3月16日(土) 第3回 役員会

4月20日(土) 第4回 役員会

2. 令和5年度冠山会総会

日時 5月14日(日) 午前11時開会

会場 日航奈良ホテル(昭和49年卒業学年と共同開催)

3. 冠山会歴史愛好会

・未定

4. 冠山会だより(会報)の発行

・6月下旬～7月上旬 第43号を発行し会員へ発送

5. 清掃ボランティア活動

・12月2日(土) 冠山会館周辺の清掃及び校内植栽の整備活動を実施

6. 情報交換会

・10月中旬 本部役員と校長先生との情報交換会を予定

7. 冠山会入会式ならびに卒業式

2月28日(水) 卒業記念品贈呈式ならびに冠山会入会式

3月1日(金) 郡山高校卒業証書授与式が挙行され、昭和49年卒業の学年が卒業後50年を記念して卒業式に招待される。

◆ 令和5年度 冠山会予算書

奈良県立郡山高等学校冠山会

自 令和5年4月1日～至 令和6年3月31日

収入予算額 6,440,000円

支出予算額 6,440,000円

差引過不足額 0円

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘要
前期繰越金	455,413	1,285,636	-830,223	前年度からの繰越金
入会金	1,775,000	1,775,000	0	卒業生 5,000円×355人=1,775,000円
活動協力金	3,900,000	3,900,000	0	会報発行協力金
総会参加費	150,000	150,000	0	総会参加費
寄付金	150,000	150,000	0	
雑収入	9,587	39,364	-29,777	広告収入等
合計	6,440,000	7,300,000	-860,000	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘要
会議費	15,000	30,000	-15,000	役員会、年次幹事会、活性化部会開催経費
総会費	1,000,000	1,000,000	0	総会、懇親会開催経費、講師謝礼等
卒50周年招待費	300,000	300,000	0	卒50周年(昭和49年卒)招待経費
卒業記念品費	370,000	400,000	-30,000	卒業記念品贈呈費用
生徒活動支援費	340,000	350,000	-10,000	全国大会等出場生徒への祝金、支援金
教育事業支援金	100,000	100,000	0	リーダー育成海外研修事業への支援
植木剪定等事業費	40,000	100,000	-60,000	植木剪定ボランティア運営費等
委託費	3,600,000	3,600,000	0	会報発行委託料
事務費	200,000	250,000	-50,000	事務用品、運送料、通信費等
報酬	322,000	320,000	2,000	事務補助報酬(月額20,000円×16.1ヶ月分)
慶弔費	110,000	150,000	-40,000	教職員への祝金、香料等
諸費	20,000	100,000	-80,000	会長、副会長祝賀会等参加費
維持費等積立金	0	500,000	-500,000	冠山会館維持、周年記念準備積立金、事業積立
予備費	23,000	100,000	-77,000	
合計	6,440,000	7,300,000	-860,000	

130周年記念事業協力金について

奈良県立郡山高等学校冠山会

130周年記念事業に係る協力金として事業積立金から270万円を支出します。

● 郡山高校 ● インターネットでホームページを開設

奈良県立郡山高等学校の公式サイトです。 <http://www.e-net.nara.jp/hs/koriyama>

同窓会をされた
幹事さんへのお願い



名簿の異動、会報への寄稿や写真提供がありましたら

冠山会事務局 (0743-55-0556)

までFAXにてお知らせ頂ければ有難く思います。

皆様いかがお過ごしでしょうか。
コロナに振り回された3年余り、やっとコロナから解放される時が近づいてきたのか、徐々に街に活気が戻り始めています。
今年のゴールデンウィークの様子を見ると、コロナ前のように、奈良の町にもたくさんの方々が観光に訪れていました。
今回の冠山会だよりにも、4年ぶりの冠山会総会、また同窓会やOB会等が開催されたという明るい記事が届きました。
「アフターコロナ」の時代はまだまだ先かもしませんが、確実に「ウィブコロナ」から「アフターコロナ」に時がかわるうとしています。
コロナによって変わった生活スタイルや、世の中の仕組みをプラスに捉えて地道に明るく過ごしていきましょう。

(阪本)

編集後記

令和4年度

冠山会寄附金

下記の皆様よりご寄附いただきました。
ありがとうございました。

昭和19年卒業生花岡敏子氏より	100,000円
合計	100,000円

※昭和46年卒業生一同より91,701円をご寄附いただきましたが、事務処理の都合上、次年度への寄附金とさせていただきます。